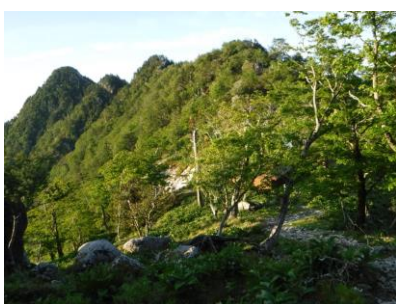


大峰山脈、大峯奥駈古道南部 (千丈平～熊野本宮大社)

6/3 千丈平 4:45－深山小屋 5:41－太古の辻 6:11－滝川の辻 9:40－涅槃岳 10:54－俱利迦羅岳 14:50－行仙岳 16:40－行仙小屋 17:20 (小屋泊り)

幕場から 80m 登り返し、深仙の宿へのルートに乗る。正面に、小屋の赤い屋根が朝陽を浴び、穏やかな景色が飛び込んでくる。下りきったら、行場のある、大日岳の岩峰を見送り進むと、太古ノ辻で、これより、大峯南奥駈道と記されている。ここは、前鬼へのルートがあり、エスケープルートになる。この先、天狗岳、地藏岳の稜線は、アップダウンを繰り返し、穏やかな笹原を、展望を楽しみ進む。涅槃岳を過ぎ証誠無漏岳を登り始めた時、ホラ貝の音色が聞こえ、間もなく山伏に会う。



深山小屋



ここより南奥駈道 (太古の辻)



振り返り釈迦ヶ岳



釈迦ヶ岳、大日岳を振りかえる



幾つもの山を越えて行く



奥が行仙岳、まだと～い!

挨拶をし、行仙小屋の情報を得る。ホラ貝は、獣避けに吹くらしい!? 持経ノ宿は、林道わきにあり、小屋前に奉仕の水を置いてくれていた。平治ノ宿 (水場あり) を見送り、転法輪岳まで来た。やっと行仙岳が見えてきた。・・・が、まだ遠いです! 今日は、ちょっとした、鎖場はあったが、緊張する様などころもなく、ただただアップダウンの繰り返しが長い、今日の宿まで、前に見える二つの山を越えなければ・・・飛んでいきたい!

ようやく、行仙岳の登りに入った。惰性で、登るには辛すぎる。草付きの岩交じりを四つん這いで登る。大きな電波塔のある展望のない山頂を通り抜け、行仙小屋に下り着いた。山伏さんの言っていたように、水は汲み置きの水を頂き、サトウのごはんは、自分の食料を減らすためにも、遠慮した。新宮山彦グループのみなさんに感謝します。今日は、山行初の小屋泊り、広々して楽です。宿代を箱に納めてゆっくり休んだ。

6/4 行仙宿山小屋 4:15－笠捨山 5:49－地藏岳 7:14－花折塚 12:40－玉置山－13:59－玉置神社 14:51－大森山山麓 16:30 (テント泊)

樹林の中の小屋は、薄暗く、ヘッドランプを使って出発する。小さなアップダウンを繰り返して笠捨山山頂に立つ。この山は、四方に肩を張る大きな山で登り応えのある山がある。200mの急斜面を下ると、間もなく、地藏岳の岩峰を見る。見た目より楽に登れた。木の根や鎖を攀じ登り、お地藏さんは、ルートから少し外れた場所に安置されていた。不安定な痩せ尾根は、北側が開け、行仙岳から、笠捨山への尾根を望み、地藏岳の岩壁も目を引く。そんな矢先、垂壁の鎖場となり、万が一を考え、自己ビレーできるよう整え下降する。スタンスは、あったので苦労なく下降できた。7、8m位かな？



崖に延びる根を登る

下から見上げる鎖場

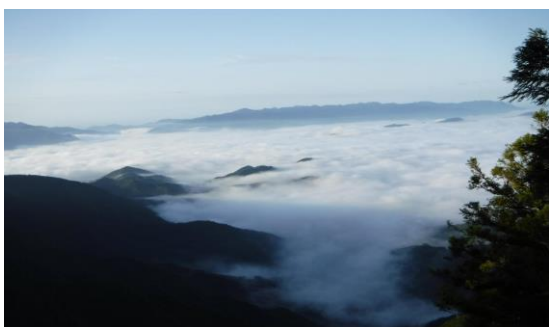
玉置神社

この後、しばらく岩場が続き、拝み返して、鎖地帯は終わり、今日のハイライトは終わる。香精山からグングンひたすら下り、林道と何度も交差しながら進んで花折塚を通過、振り返り、笠捨山、地藏岳を望み、気分転換！変化のない精神修行の道。一旦下った道も、玉置山の壁をひたすら登る。杉林の古道には、コアジサイが、花を付け、涼しい風が時々通り抜け、気分は和らぐ。玉置山展望台に立ち寄り、カツエ坂から玉置山山頂に立った。道標を辿り、玉置神社にて冷たい水を頂き、生き返った。水を5リットル頂き、大森山に向かう。玉置辻では、林道工事で古道が壊され、暫く不安ながら林道を進むと、古道に導くピンクテープを見つけ、事なきを得る。大森山への登りに入る前、最適な幕営地を見つけ、今日の宿とした。今日も、暑さとの戦いでもあった。

6/5 大森山山麓 5:56—六道の辻 10:16—熊野川渡渉 13:11—本宮 14:00—風呂—新宮へバス移動 16:10⇒新宮駅夜行バス 20:25⇒新宿 6/6 5:55⇒帰葉

そろそろ疲れが出てきたのか、4時過ぎまでぐっすり寝入ってしまった。特に急ぐこともない。最終日と思うと、寂しいような、風呂に入れる嬉しさとか、複雑な気持ちで、快適だったテント場を名残惜しく出発する。大森山の激下りから、幾度となく登り返しながら五大尊岳、大黒天神岳辺りまで下って来ると、左手に熊野川を見るようになり、ゴールを意識するようになる。幾度となく続く小ピークをひとつずつ越え吹越峠を越えると、突然眼下に、大斎原の森が見えた。うれしかった！！が・・・熊野川は、すぐ下を流れている

のに、簡単には、下ろしてくれないもどかしさ。川に沿ってアップダウンの繰り返しは、最後の最後まで続いた。



雲海



熊野川の蛇行



中央に大斎原の森と大鳥居



渡渉した熊野川



熊野本宮大社

河原に下りた時は、暑くて川に飛び込みたかったが、飛び込める水量ではなかった。ネオプレンの靴下に履き替え、熊野川を渡る。大鳥居のある、大斎原の聖地から、熊野本宮大社に向かい、階段を登り今回、大峯奥駈道を歩けたお礼参りをした。

観光案内所にて、今晚の新宮駅から新宿行きの夜行バスの予約をして、風呂に入り、新宮駅行のバスで移動。新宮駅近くのイタリアンの店で、とりわけ美味しい夕食（熊野牛）を食べ、夜行バスで帰路に着く。

